

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位
対象学年組：第1学年 A組～H組
使用教科書：（「言語文化」筑摩書房）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使用する能力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、自己の思考を深化させ、理解する能力、伝達する能力の向上を図り、生涯を支える国語力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	・「児のそら寝」（宇治拾遺物語） ・「古典文法の窓」1～3 【知】文語の決まりや古典特有の表現について理解すること。 【思】文章の内容・構成・展開について理解すること。	・原文筆写や音読などによって説話に親しみ、古文の世界を味わう。 ・文章の構成・展開、表現の特色について考える。 ・歴史的仮名遣いや文語文法について、その基礎的な知識を身に付ける。	○	○	○	ア）古文への入門として説話を読み、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ）古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語の決まり、古文特有の表現などについて理解している。 ウ）文章の構成や展開などについての確に理解している。	○	○	○	10
	・「漢文を学ぶために」 【知】漢文の決まりや古典特有の表現について理解すること。 【思】文章の内容・構成・展開について理解すること。	・原文筆写や音読などによって漢文に親しみ、漢文の世界を味わう。 ・文章の構成・展開、表現の特色について考える。 ・漢文を読むために必要な訓読の決まりを学ぶ。	○	○	○	ア）古典の世界に親しむために、漢文を読むために必要な訓読の決まりや、再読文字などについて理解している。 イ）故事成語を読み、また自ら調べることで、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ウ）文章の構成や展開などについての確に理解している。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	・「芥川」「東下り」（伊勢物語） ・「古典文法の窓」4・5・8 【知】文語の決まりや古典特有の語について理解すること。 【思】文章の内容・構成・展開について理解すること。	・原文筆写や音読などによって歌物語に親しみ、古文の世界を味わう。 ・和歌を理解するために、その修辭法について基礎的な知識を身に付ける。 ・文語文法、特に助動詞の活用のかたや意味についてを学ぶ。	○	○	○	ア）文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 イ）和歌の修辭の、枕詞・序詞・掛詞などについての確に理解している。 ウ）古文における係り結びの法則や、助動詞の活用と意味などを的確に理解している。	○	○	○	10
	・「朝三暮四」 ・「守株」 【知】漢文の決まりや古典特有の語について理解すること。 【思】文章の内容・構成・展開について理解すること。	・原文筆写や音読などによって漢文に親しみ、漢文の世界を味わう。 ・文章の構成・展開、表現の特色について考える。 ・漢文を読むために必要な訓読の決まりを学ぶ。	○	○	○	ア）教材の文章を読解し、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 イ）文章の構成や展開についての確に理解している。 ウ）中国古典思想について、その歴史的背景を理解する。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	・「羅生門」（芥川龍之介） ・「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の話」（今昔物語集） 【知】語の意味や文章表現の特徴について理解すること。 【思】文章の内容・構成や、登場人物の心情について理解すること。	・小説『羅生門』を読み、登場人物のやりとりや小説の結末を通して、人間が自身の生死に関する選択をするときの心理を考察する。 ・計算された描写や比喩などの表現技巧を整理し、それらの効果を考える。 ・原作となる『今昔物語集』の文章と比較してその違いを考える。	○	○	○	ア）常用漢字の読みに慣れ、書くことができ、文や文章の中で使える。 イ）登場人物の心理の変化についての確に理解している。 ウ）小説の原作となる説話を読み、設定や描写の相違点を理解している。				2

[illegible]

高等学校 令和 7 年度（2 学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科 国語 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

[illegible]

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科： 国語 科目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（『文学国語』筑摩書房（143 筑摩 文国 708））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「情報の彫刻」（原研哉） 【知】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	・現代社会における書籍について本文から読み取る。 ・筆者の見解についての問題に取り組みながら読解を深める。		○	○	【知】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	B「実体の美と状況の美」（高階秀爾） 【知】文学的な文章、論理的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	・美意識の中に潜む文化的な基準を本文から読み取る。 ・筆者の見解について、論の構造を正確におさえながら理解する。 ・筆者の見解についての問題に取り組みながら読解を深める。		○	○	【知】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	C「山月記」（中島 敦） 【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思】設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	・漢文調のリズムを味わう。 ・小説の設定を正確におさえる。 ・登場人物のやり取りに注目し、会話の表現方法を理解する。 ・登場人物の心情を、本文を根拠に読み取る。 ・作品の基となった古典作品や同じ題材の作品と比較する。	○	○	○	【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2 学 期	D「記号論と生のリアリティ」（立川健二） 【知】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	・記号論の考え方を本文から読み取る。 ・筆者の見解について、論の構造を正確におさえながら理解する。 ・筆者の見解についての問題に取り組みながら読解を深める。		○	○	【知】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。				5
	E「隠れん坊の精神史」（藤田省三） 【知】文学的な文章、論理的文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めることができる。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。	・身近な遊びから精神史を読み取る。 ・筆者の見解について、論の構造を正確におさえながら理解する。 ・筆者の見解についての問題に取り組みながら読解を深める。		○	○	【知】文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。				6
	定期考査						○	○		1
	F「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか」（渡辺一夫） 【知】文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えることができる。	・筆者のものの考え方、語句の用い方、表現の方法を参考にしながら、文学的な文章の読解について理解を深める。 ・「寛容」であることの意義について考えを深める。		○	○	【知】文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	○	○	○	5
	G「バイリンガリズムの政治学」（今福龍太） 【知】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 【思】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。	・筆者の分析する内容や伝えようとしている内容がどのようなものか、考察する。 ・筆者が選んだ題材について、日常生活で当てはまる場面を挙げながら論述する。		○	○	【知】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	○	○	○	5



[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 文系古典探究

教科： 国語 科目： 文系古典探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（『高等学校 古典探究 古文編』『高等学校 古典探究 漢文編』第一学習社（183 第一 古探 717・718））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 文系古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「宮に初めて参りたるころ」（枕草子） B「深草の里」（無明抄） 古文問題演習 【知】古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 【思】文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができる。	・日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ・歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。			○	【知】古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思】文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	○	○	○	18
	C「不若人有其宝」（新序文） 漢文問題演習 【知】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・訓読上のきまりを正しく理解して本文の解釈に活用する。 ・前半の子罕の逸話と後半の論説とを読み、人にとつての宝とはどういうものか捉える。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める。			○	【知】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
	D「女三の宮の降嫁」（源氏物語） E「紫の上の死」（源氏物語） 古文問題演習 【知】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思】古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・平安時代の貴族社会の様子や宮廷社会の身分秩序について理解を深める。			○	【知】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	18
	F「蜻蛉者説」（柳宗元） 漢文問題演習 【知】古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 【思】必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができる。	・蔣氏の言葉に表れた、古代の民衆の生活の様子を読み取るとともに、作者がこの文章を著した目的を理解する。 ・「説」という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・訓読のきまりについて理解を深める。			○	【知】古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思】必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	○	○	○	9
	定期考査						○	○	○	1
	G「うつろひたる菊」（蜻蛉日記） H「灯桃に朝顔」（西国諸国ばなし） 古文問題演習 【知】古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 ・近世に生まれた新たな文芸を読み、語彙や表現に慣れるとともに、文章に表れた価値観を通して考えを深める。 ・浮世草子という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。			○	【知】古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	18
	I「性善」（孟子・告子上） J「機心」（莊子） 漢文問題演習 【知】古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・儒家の古典である『孟子』『莊子』を読み、古代中国思想について理解する。 ・思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・思想を述べた文章の特徴について理解を深める。			○	【知】古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思】古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	9

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語
教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 A組～ H組
使用教科書：（『論理国語』筑摩書房〔143 筑摩 論国 710〕）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A「近代の成立——遠近法」 【知】段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思】文章の構成や展開、表現の仕方などについて、主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味する。	・「近代」が生み出してきた思考や世界観について理解する。 ・「近代」において「主体」と「客体」として位置づけられたものにはどのようなものがあるか、またその区分はどのような問題を作り出したかを考える。		○	○	ア) 本文のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ) 漢字や語句を適切に使用することができる。 ウ) 本文について、筆者の主張を理解している。 エ) 評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	B「地図の想像力」 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。	・人間と世界との多様な関係について考える。 ・さまざまな地図について、その特色を理解する。		○	○	ア) 本文のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ) 漢字や語句を適切に使用することができる。 ウ) 本文について、筆者の主張を理解している。 エ) 評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	C「『である』ことと『する』こと」 【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思】主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。	・社会の原理や原則を形づくることばが、どんな思想や行動に支えられているかという分析を突き詰める文章の手法を理解する。 ・自分たちの生活の中にある「である」価値と「する」価値について、具体例を挙げて考える。		○	○	ア) 本文のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ) 漢字や語句を適切に使用することができる。 ウ) 本文について、筆者の主張を理解している。 エ) 評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	10
	D「記号としての身体」 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	・具合例を通じた筆者の主張を、論理構成を的確に把握して読み解く。 ・「他者によって認識された自己身体」について理解する。 ・「社会的な記号性を欠いた身体は存在しない」という筆者の主張を批判的に検討する。		○	○	ア) 本文のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ) 漢字や語句を適切に使用することができる。 ウ) 本文について、筆者の主張を理解している。 エ) 評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	E「トリアージ社会」 問題演習 【知】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思】人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	・ことばの変遷を追うことによって社会の実像が見えてくるということを理解する。 ・治療において「トリアージ」が導入されることについて考える。		○	○	ア) 本文のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ) 漢字や語句を適切に使用することができる。 ウ) 本文について、筆者の主張を理解している。 エ) 評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	F「『贅沢』のすすめ」 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。	・具合例を通じた筆者の主張を、論理構成を的確に把握して読み解く。 ・消費社会の課題について考える。 ・「浪費をとまなう贅沢は非難されるものではなく、豊かな生活に不可欠なものだ」という筆者の主		○	○	ア) 本文のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ) 漢字や語句を適切に使用することができる。 ウ) 本文について、筆者の主張を理解している。 エ) 評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）教科国語科目 論理国語演習

教科：国語科目：論理国語演習単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

使用教科書：（『論理国語』筑摩書房〔143 筑摩 論国 710〕）

教科国語の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目論理国語演習の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「ことばの道具性」（イ・ヨンスク） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。		○	○	ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	6
	B「抵抗の力」（加藤典洋） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。		○	○	ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	6
	C「考えないヒト」（正高信男） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。		○	○	ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	D「物語る声を求めて」（津島佑子） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。		○	○	ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	E「青の時代」（三島由紀夫） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。		○	○	ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	F「私的なもの 所有の逆説」（鷗田清一） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。		○	○	ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	G「贅沢とは何か」（國分功一郎） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、接続の仕方を理解する。 【思】論理の展開を叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的に応じた適切な文や文章を書く。				ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解している。 エ）評論の内容、構成、論理の展開について、的確に把握している。	○	○	○	7
	H「リベラリズムの二つの危機」（河野哲也） 問題演習 【知】文章の効果的な組み立て方、	・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。				ア）本教材のテーマについて、実生活の中での現象として理解している。 イ）常用漢字を適切に使用することができる。 ウ）本教材について、筆者の主張を理解してい	○	○	○	7

[illegible]